

生理学研究所ヒトES細胞倫理審査委員会（第2回）議事要旨

日時	2026年1月19日（月）16時00分から17時10分
場所	事務センター棟3階 応接室、各自の居室（Zoomによるオンライン開催）
出席者	吉村委員長、古瀬副委員長、相澤、磯田、小原、櫻井、須賀、中澤、吉田の各委員
欠席者	市川委員
陪席者	小林教授（生理学研究所・個体創生研究部門）
列席者	梶浦国際研究協力課長、嶋田国際研究協力課課長補佐、木本国際・研究支援係長、伊藤国際・研究支援係主任

議事に先立ち、吉村委員長から、自然科学研究機構生理学研究所ヒトES細胞倫理審査委員会細則第5条に基づく定足数及び成立要件を満たし、本委員会が成立している旨の報告があった。

次いで、吉村委員長から、小林教授の陪席について提案があり、了承された。

議 事

1 前回委員会（2025年11月27日（木））議事要旨について確認した。

2 使用計画書（新規申請）の審査について

【使用計画】

使用計画名称：ヒトES細胞から生殖系列への運命決定機構の解明

使用責任者：生理学研究所 小林 俊寛

【審査結果】

使用計画「ヒトES細胞から生殖系列への運命決定機構の解明」について、使用責任者からの概要説明及び質疑応答を行った。それらの結果をふまえ、科学的妥当性及び倫理的妥当性を総合的に審査した結果、同使用計画が「ヒトES細胞の使用に関する指針」等に適合しているものと判断した。

ただし、以下の点について、使用計画書を修正することとし、修正された使用計画書の確認については、委員長に一任することとした。

（修正）

ES細胞を破棄する際の用語について、「滅菌」ではなく「不活化」に統一する。

以上

追記

使用責任者より2026年1月20日に修正した使用計画書が提出され、同日、委員長が適切に修正されていることを確認した。また、2026年1月27日には、委員長および副委員長が使用予定の実験室の現地確認を行った。